



たんぽぽ

迎春 市民の幸せのために 今年もがんばります



1 2月議会代表質を行う
我如古一郎市議



繁多川2丁目のウフカー
に立つ松の大木

2010年度
12月議会

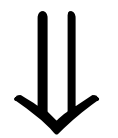
県知事選
の結果は

基地の県内移設反対が県民総意に

意見書

TPP経済連携協定への
参加に反対する意見書

市長の答弁



政府に
対する
強烈な
メッセージ

主な代表質問の要旨です

●県知事選挙の結果は、日米両政府が推進する「県内移設」が明確に否定されました。それはなによりも、辺野古に新基地を建設することをうたっている民主党政権が候補者を立て切れなかったこと、当選した仲井真氏も「県外移設」を公約に掲げ、「県内移設容認」の立場を変えざるを得なかったことから明らかです。県民の総意に反した辺野古移設の「日米合意」の実行はもはや不可能です。知事選挙の結果は日米両政府が進める普天間基地の「県内移設」の余地は全くないことを示しました。市長の見解を求めます。

市長答弁 相手候補であった伊波氏も県内移設を否定しており、基地問題に対する県民のスタンスは、県内移設はなにかを当然としたものである。仲井真知事の再選は県民の願いがひとつにまとまっていることを政府に示し、県内移設を否定する強烈なメッセージであったと考えております。

●嘉手納基地の改修によるダイバートで那覇市での騒音被害も深刻になっています。そのような時に、航空自衛隊那覇基地の戦闘機10機増強は、狭隘な那覇空港をさらに過密にし、危険性と騒音が拡大することは明らかであり、増強すべきではありません。市長の見解を求めます。

総務部長答弁 「これまでも市長は安全保障の観点から自衛隊を容認していますが、市民生活に影響が出る増強は問題があると考えます」と明確に反対はせず。

●那覇空港は民間専用化こそ必要です。日本一過密な空港にこれ以上の増強は事故と騒音の被害を招きます。

●沖縄の農業に壊滅的な打撃を与え、地域社会と地域経済に深刻な影響を及ぼす、TPP（環太平洋経済連携協定）の締結に那覇市として反対を表明すべきと思います

菅首相は、市場開放を不可避とし、農業の発展と「両立」させることを「改革」の建前としています。一方では農業人口の高齢化などをあげて日本農業の衰退を強調し、規制で身動きがとれないかのように描いて、「改革」しなければ、TPP参加にかかわりなく農業に未来がないといえます。ここにはごまかしがあります。歴代の自民党政権は市場を次々に開放し、輸入食料への依存を強めてきました。日本の農産物関税率は平均して11.7%で、四分の一は今でも無関税であり、市場はすでに大きく開かれています。

若い世代を農業から遠ざけてきたのは、農業経営を成り立たなくさせたこうした農政です。日本農業の発展をいうなら、従来の農政の抜本見直しこそ不可欠です。

●那覇市「中小企業振興基本条例」は、わが党が長年提案してきたものであり、評価します。

●経済波及効果が大きく、各地で零細企業の仕事作りを力を発揮している「住宅リフォーム助成制度」を具体的な施策に位置づけてはどうでしょうか。

建設管理部長 住宅リフォーム助成制度を23年度からの実施計画に500万円の予算を要求したが、査定で認められなかった。これからも予算化できるよう努力します。

●「住宅リフォーム助成制度」は、零細企業、一人親方の事業所の仕事を起こし、経済波及効果が大きい事業です。財政難の問題ではなく市長のやる気の問題です。

12月議会個人質問

松枯れ対策を要求

強い木の代表のような松も、助けようのない謎の病気にやられて、どんどん枯れています。緑が急速に失われ、潤いの少ない本市の景観にあって、数少ない松の大き木は地域のシンボルとしても、守るべき対象として、行政が本腰を入れなければ、いつかは松くい虫の被害で失われていくでしょう。

識名園の松、世界遺産首里城周辺の松、繁多川2丁目のウフガーにある大きな松、大石公園、末吉公園の松、繁多川公園、識名公園に点在する松、小椋や他の地域にも貴重な松があることでしょうか。

どれも地域の景観に有益な、風景を作り出しています。上間1丁目の旧部落の一番奥にある松の3本のうち、一番枝振りの良い松が、枯れています。

識名4丁目の水道局タンク前の松も2本のうち1本が枯れています。識名公園のお墓の周辺は、いたるところで枯れています。枯れて、そのまま放置されると、そこから新たな松くい虫が巣立ち、健康な松を食い荒らすというのが、松くい虫被害拡大の最大の特徴です。

松くい虫対策は、環境部や経済観光部の商工農水課と建設管理部の公園管理室・道路管理室や教育委員会を網羅した横断的な対策チームを立ち上げ、市が積極的に対策をすべきです。対応と見解を問うものです。

環境部長答弁 松くい虫対策は、自然保護や都市景観上必要だと認識しております。議員ご提案の横断的な対策チームの立ち上げについては、関連部門でも必要性を認識しておりますので、今後前向きに取り組んでまいりたいと考えております。



上間1丁目部落の枯れた松



識名4丁目タンク前の枯れた松

都市型水害対策の質問



近年、ゲリラ豪雨という言葉が生まれました。局地的な大雨による雨水が直接排水溝や排水路に流れ込み、低地帯で浸水被害が発生する、都市型水害が広がっています。局地的な豪雨にも対応できる、安心な街づくりが求められていますが、本市にもその対策が必要で

す。雨水地下浸透枡と雨水小型貯留施設を補助しているが、環境部の事業では、雨水の有効活用という観点での事業であり、水害対策としては不十分であると、わかりました。

ガープ川のような水難事故も発生し、局地的なゲリラ豪雨や集中豪雨などに対応できる対策、街づくりが必要になっていきます。

水害対策・浸水対策として、雨水地下浸透枡や雨水小型貯留施設の設置を推進する考えはないのか。伺います。

上下水道局長答弁 ガープ川沿いに留まらず市内全域を対象とした総合的治水対策として、議員の提案する小型浸透枡や一時貯留施設は有効な浸水対策と考えております。全庁的な取り組みで積極的に推進したいと考えております。

識名トンネル近くに信号機の設置を

新しく開通した、真地久茂地線の識名トンネルの完成に伴い、那覇市道（識名東線）が分断され、横断ができなくなっています。地域の皆さんから、不便になったと苦情があり、信号機を付けて安全に横断できるようにしてもらいたいとの要望があがっています。バイパスを横断させないために、近くの識名ガーデンハイツの住宅街が迂回路にされてしまい、交通量が大幅に増えて事故が起きています。また、通学のために無理やり横断する高校生もおり、人身事故の危険性も増大しています。対応を求めます。

市民文化部長答弁 現場確認の結果、本市と致しましては信号機の設置の必要性を認識しておりますので、那覇警察署に対し要請をしてまいりたいと考えております。



カーブミラー設置（真地）



真地地域の住民から相談があった、カーブミラーの設置が、昨年9月に完了しました。以前あったミラーが、アパートの建設で撤去されて、通行に支障が出ていました。

我如古議員が地主さんと相談し、実現したものです。